

## 令和3年度第1回摂津市男女共同参画推進審議会 要点録

日 時：令和3年7月5日（月）14時～16時

場 所：摂津市役所7階講堂

出席者：会長、副会長、他委員8名（計10名）

事務局：由井課長・末永課長代理・杉本・岩見

- 案 件
- 1 第3期摂津市男女共同参画計画の振返りについて
  - 2 第4期摂津市男女共同参画計画の骨子（案）について
  - 3 その他

### 案件1 第3期摂津市男女共同参画計画の振返りについて

○以下3点を軸に説明をした。

#### ①第3期摂津市男女共同参画計画での取組について

- ・デートDV出前講座、デートDV予防啓発ユースリーダー養成講座の実施
- ・女性人材登録制度の実施
- ・男女共同参画の視点からの防災をテーマにした出前講座と摂津防災サポーター養成講座の講座開催
- ・出産・育児等に係る休暇制度等について、パンフレットを作成し、制度の周知
- ・性の多様性に配慮した「性の多様性に関するハンドブック」の作成及び、申請書等における性別欄の削除
- ・オレンジ&パープルリボンバッジの作成、販売
- ・生活応援連携シートの運用開始
- ・婦人相談員の配置、女性のための相談室の開室時間の拡張

#### ②令和2年8月に実施した男女共同参画にかかる市民意識調査報告書

#### ③世界・国・府における近年の動向

（SDGsや「女性の職業分野における活躍の推進に関する法律」施行等）

○学校でのデートDV、LGBT教育状況についての質問があり、令和2年度は中学校4校／5校、残りの1校は外部の講師の授業を実施していると回答をした。またLGBTの出前講座の依頼は来ていないが、各学校にLGBTの担当教諭がいるので、各校で各々の取組は行っている。

- 摂津の防災として男女共同参画の視点はどのように取り組まれているのかとの質問があり、避難所における女性の視点をテーマに研究を行ったが、実際に避難所運営に全て反映されているかと言うと難しく課題であると回答した。また、毎年各校区で行っている自主防災訓練に関しても、男性の方が中心でされているのが現状である。

#### 案件2 第4期摂津市男女共同参画計画の骨子（案）について

- 第3期計画を基に第4期計画の新たな骨子（案）について説明をした。新たな計画ではないため大きな変更は行わないが、広くかかれた各項目についてまとめたいと説明をした。
- 性暴力被害者への支援は、被害があつての相談支援であるが、被害を出さないための啓発も必要であり、DVと性暴力は異なるものであるため、個々に支援体制を考えないといけない。
- 性別関係無く暴力の根絶と訴えるのが良いのか、第3期計画と同じで、女性が暴力を受けやすい立場であるため、女性に限定した項目とすれば良いのかについて、ジェンダー格差は大きく、女性差別が完全に消えた訳では無いため、そのまま残す方が良いとの意見があつた。
- ウィズせつつは、男女共同参画の司令塔の様な役割をして、様々な事業を行っていただきたいとの意見があつた。
- 「メディアにおける女性の人権促進」について、女性の性の商品化について問題になっており、それに対して意識を高めていこうという意味があるので、残すべきであるとの意見があつた。
- 「ポジティブアクション」と積極的に登用するのは、似て非なるものではなく、ポジティブアクションは残した方が良いのではないかという意見があつた。
- 骨子（案）全体が抽象的な言葉や表現になっているため、インパクトのある言葉や具体的な表現にした方が良いという意見があつた。